

ASEACCU (東南・東アジアカトリック大学連盟) 学生会議に参加して

期 間：2013年8月22日～25日
場 所：The Catholic University of Korea(韓国 富川市)
参加者：田中菜月さん(経営学部経営学科3年)
北條かおりさん(法学部法律学科2年)



ASEACCU実施内容

ASEACCUには、日本、オーストラリア、インドネシア、韓国、フィリピン、台湾、タイ、カンボジアといった東南アジア・東アジアの国や地域から、69大学が加盟しています。2013年8月22日～25日に韓国カトリック大学で実施されたASEACCU総会には8カ国69大学から学生100名以上が参加しました。学生会議のテーマは「新しい情熱、新しいメソッド、新しい表現：これからの福音化のためのカトリック高等教育の役割」、経済、教育、宗教といった各テーマことによるグループディスカッションやプレゼンテーションの発表を通してアジアの若い世代が直面するこれらの課題についてカトリックの視点から理解を深めました。また、会議と並行して明洞聖堂や仁寺洞などソウル市内のスタディーツアーも実施されました。最終日には各国のカルチャーパフォーマンスが行われ文化理解を深めました。

ASEACCU: Association of Southeast and East Asian Catholic Colleges and Universities



田中菜月さん感想

このASEACCU学生会議に参加させていただき、様々なアジアの学生と交流した事で、多くの発見がありました。今年は、「新しい情熱、新しいメソッド、新しい表現：これからの福音化のためのカトリック高等教育の役割」というテーマのもと、私は格差に注目しながら経済についてグループディスカッションをしました。そこでは、各国の経済状況を分かち合い、学生である私たちができることは何かを議論しました。最も強く印象に残っていることは、各学生自身が持っている影響力を最大限に発揮させるということです。大学という枠を超えて社会に貢献することに意識を向けている多くの学生に出会い、社会を良い方向へ変えていくというようにより強い熱意を持つことが必要であると感じました。また、一学生である私がこのような大きな国際会議に参加できているという恵まれた環境で学習できていることを深く実感しました。この学生会議で得られたことを生かし、社会に貢献できる人材になるためにも残りの学生生活を実りあるものにしていきたいと思いました。



左：北條さん、右：田中さん

北條かおりさん感想

この会議の間、本当に多くの人々と関わる機会がありました。国も違えば、普段学んでいることも違っていました。私達は英語という共通の言語を用いて、同じ問題について真剣に話し合うことができました。他国の学生の意見を聞くことは、他の文化を知ることだけでなく、自らの文化についても考える機会になりました。日本においては、日本のことを客観的に見ることは難しいですが、この会議で様々な意見を聞くことができ、私たちが抱えている様々な問題について新たな視点を持つことができたと思います。会議で出会った人々との交流の中にはいつも新しい発見がありました。問題について熱心に語る彼らの姿を見たことは、自分の現状や将来の展望についてより深く考えるきっかけにもなりました。このような機会を与えて頂いたことに大変感謝しています。この会議は私の大学時代の宝物になると思います。



小さなドラマとチャレンジの繰返し

長谷川 直樹 法学部法律学科 2007年度卒業



就職も決まって、卒業も決まっていた大学4年の秋学期、ただ卒業式を待つだけじゃつまらないと思っていた私は、かねてから興味のある研究をされていた経営学部の姜先生に、研究の手伝いをさせてほしいとお願いにいきました。先生から「VBAというプログラミングが書けることが出来れば、手伝いにきてほしい」という言葉に対して、私は「出来ます」と答えました。実はそれは当時、『嘘』だったのです。それから次に先生に会うまでの間にVBAの本を買い、一応『出来る』と名乗れるレベルにはなり、先生の『最適停止問題』という研究テーマの手伝いをする事になりました。

先生は資料の表現方法まで細かく指示されました。当時は、そこまで細かいところまでこだわるとは思いましたが、情報を整理して、まとめる。この基本的なことは仕事でもエネルギー費やメンテナンス費を計算し、それを報告する際に役に立ちました。

大学生として最後に南山大学を訪れた時のことです。3月末のある日も、22時ごろまで先生と一緒にデータ解析をしていました。先生と挨拶を交わして研究室を出ました。『最後までバタバタだったけど、いい大学生活だったな』と思い、まだ肌寒いメインストリートでJ棟を見上げて、正門に向かって駆けていったのを見ています。週末に先生の研究室を訪れるのは社会人2年目まで続きました。今も時間を見つけては研究室を訪れています。

英語サークルESSでの活動、法学部の黒田ゼミ、今泉ゼミでの卒論、J棟のTAのアルバイト、それぞれ姜先生とのやりとりのような小さなドラマとチャレンジを繰返し、少しずつ自分の世界を広げていきました。



後方にある南山大学のバナー広告は私が働く施設活用グループが取り扱っております。毎朝、この広告を見ながら出勤しています。

活躍する南山大生の声

全国学生スペイン語弁論大会にて2位受賞

植木 リンダ ひとみ
(外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科2年)

私は、京都外国語大学スペイン語学科主催の「第49回全国学生スペイン語弁論大会」第2部(スペイン語圏の国での滞在期間6ヶ月以上の者)で、2位に入賞することができました。弁論大会での題目は「Proteger al pequeno mundo(小さな世界を守るために)」で、児童労働について話しました。内容は、小学校6年生の時



に1年半ペルーに在住し、ストリートチルドレンが働いている現実を目の当たりにし衝撃を受けたことや、果物や宝石などは多くの児童が労働した結果、安く購入することができているという

現実、そしてフェアトレードを行っている会社からの商品を購入するという小さなことから児童労働をなくすことに貢献していきたい、ということを話しました。来年秋からはメキシコに交換留学する予定なので、留学先でも社会問題について勉強していきたいと思っています。



なった一面」という演題で、フランス語の様々な表現方法、話す相手によっての使い分け等を演説しました。

全日本学生フランス語弁論大会にて2位受賞

栗本 桃子
(外国語学部フランス学科4年)

私は、京都外国語大学主催の「第45回」全日本学生フランス語弁論大会」に出場し、京都外国語大学総長・APEF賞(2位)を受賞することができました。フランス語は口語的な表現や単語を取り入れることでより表現力豊かになり、魅力的な言語になっていることを留学やゼミで学びました。そのことを伝えたいと思い、「フランス語の異

フランス語を勉強する中で、日々の授業だけでなく留学や語学劇、資格試験にも積極的に挑戦し、常に目標意識を持って取り組んできたので、今回2位を受賞することができたと思います。受賞を大変嬉しく思うと同時に、ご指導してくださった先生方から感謝したいです。今後も、私の世界を大きく広げてくれる素晴らしいツールである外国語に携わっていききたいと思います。

2014.3.21

南山大学 2013年度「卒業式典」について

開催日時：2014年3月21日(金)
第1部 午後1時より
第2部 午後3時15分より
場 所：名古屋キャンパス体育館

内 訳 第1部：外国語学部・法学部・情報理工学部 短期大学部・国際地域文化研究科 法務研究科・数理情報研究科
第2部：人文学部・経済学部・経営学部 総合政策学部・人間文化研究科 経済学研究科・ビジネス研究科 総合政策研究科

問合せ先 名古屋キャンパス 総務課
(phone:052-832-3112)
※保証人様宛のご案内文書は、卒業が確定した学生(2014年3月6日発表)にお渡しする予定です。



Information

◆ 2014年度学生納入金改定について – 授業料、施設設備費とも据え置きを決定 –

2014年度南山大学学生納入金について、2013年9月27日開催の南山大学理事会は、消費者物価指数などの外的要因、教育研究条件の改善ならびに経済的現況を総合的に勘案した判断に基づき、授業料・施設設備費を据え置くことを決定しました。

◎名古屋キャンパス学部学生

授業料を現行の718,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の210,000円に据え置く。外国語学部英米学科LL実習費は、1年次生および2年次生は現行の18,000円に、3年次生および4年次生は現行の9,000円に据え置く。

◎名古屋キャンパス大学院学生

ビジネス研究科ビジネス専攻および法務研究科を除く研究科については、授業料を現行の574,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の105,000円に据え置く。ビジネス研究科ビジネス専攻については、授業料を現行の700,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の100,000円に据え置く。法務研究科については、授業料を現行の1,000,000円に据え置くとともに、施設設備費を現行の200,000円に据え置く。

◆ 南山大学公式SNS

南山大学では、公式でFacebookとYouTubeを公開しています。Facebookでは、大学Webページでは紹介しきれないイベントや学生の活動、移りゆく季節の中のキャンパス風景など、身近なニュースを掲載しています。YouTubeでは、南山大学の行事や、学部の紹介などを掲載しています。ぜひ以下のURLを覗いてみてください。大学公式Webページのリンクボタンからもアクセスできます。

Facebook <https://www.facebook.com/NanzanUniversity>
YouTube <http://www.youtube.com/user/NanzanUniversityTV>



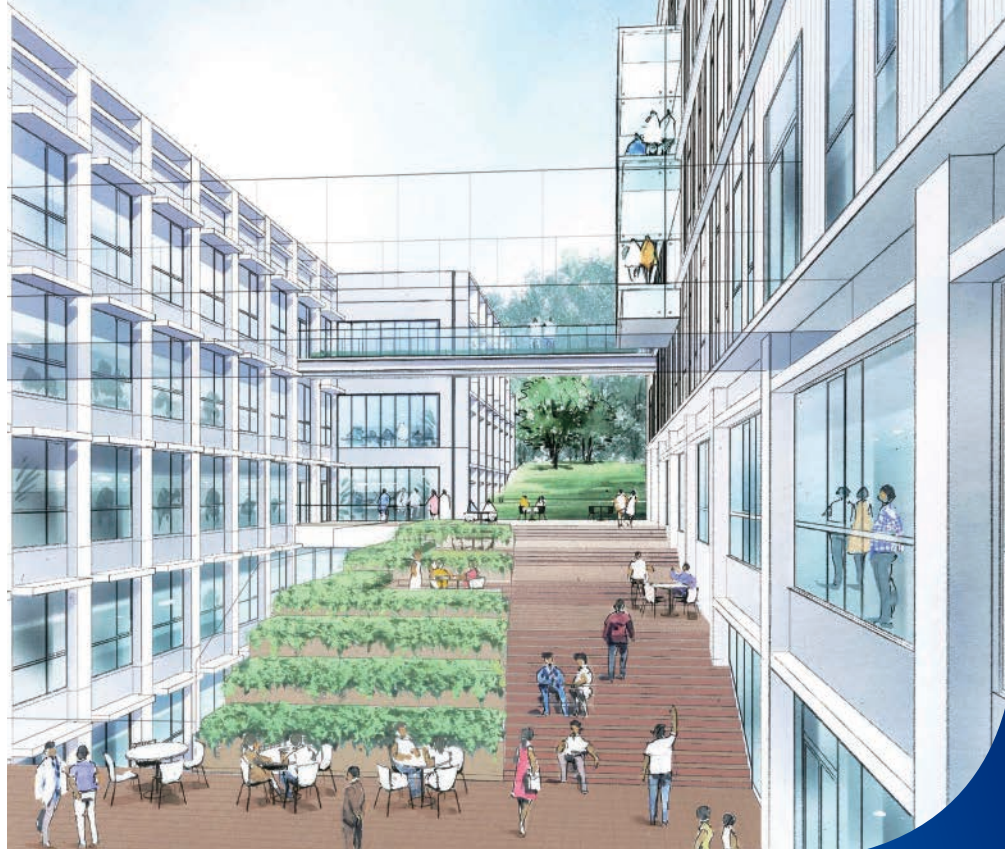
南山大学

発行 学長室
〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18
Phone: 052-832-3113(直通)
E-mail: gaku-koho@nanzan-u.ac.jp
<http://www.nanzan-u.ac.jp/>

NANZAN bulletin vol.187 2013.12.20



新棟完成イメージ図(上段)南側より(下段)西側より



One Campus
Many Skills

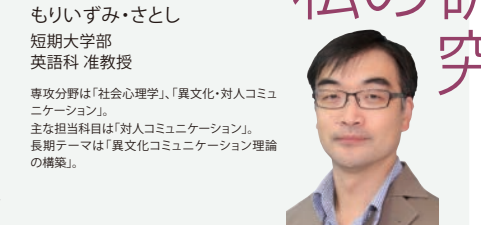
NANZAN
UNIVERSITY

対人コミュニケーションの 比較文化研究

森原 哲

日本人は欧米人と比較すると自分の言いたいことをあまりはっきり言わないとよく言われます。皆様も経験上なんとなくそうかなと思うことが多いかもしれません。このような対人コミュニケーションの特徴について、私は主にアンケート調査を行い、国際比較(主に日米比較)を通して研究しています。

私達の対人行動は、様々なコンテキスト(国、家族、学校、場面、対人関係等)が影響を及ぼし、また影響を及ぼされながら特徴づけられます。最近の研究では、「日本人=集団主義」、「欧米人=個人主義」という理論的予測からは説明できない結果が多く見られます。人種・民族の混雑が進み、デジタルメディアを介



もりいずみ・さとし
短期大学部
英語科 准教授
専攻分野は「社会心理学」、「異文化・対人コミュニケーション」
主な担当科目は「対人コミュニケーション」
長期テーマは「異文化コミュニケーション理論の構築」。

在したコミュニケーションも盛んに行われているなど、コミュニケーションのあり様も多様化していることがうかがえます。となると、コミュニケーションのあり様も何でもいいのではないかとということになりそうですが、気持ちのよい人間関係を構築するためには「良い」とされるコミュニケーションのあり方の教育・研究が必須です。「良い」とされる特徴は文化やコンテキストによって異なるために、その特徴からは説明できない結果が多く見られます。人種・民族の混雑が進み、デジタルメディアを介



2013年8月にインドネシアで開催されたアジア社会心理学学会のポスターセッションで、韓国の研究者と意見交換をしている様子。



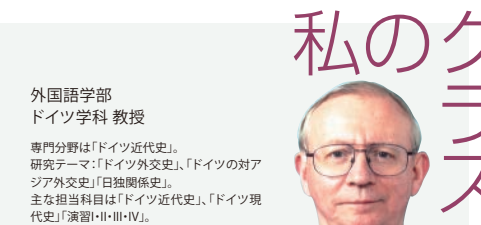
2012年5月にニューメキシコ大学で行われた博士論文最終試験後に審査員の先生方と記念撮影したものの、指導教員の先生はニュージーランドに異動したため、Skypeを通して審査して頂いた。

ドイツの歴史から学ぶ

リチャード・ジッブル

「過去に目を閉ざすものは、結局のところ、現在にも盲目になります」。ドイツ連邦共和国第6代大統領のリヒャルト・フォン・ワイゼッカーが1985年5月8日、ドイツ敗戦40周年記念演説「荒れ野の40年」のなかで述べている言葉です。これは第2次世界大戦の時の戦争犯罪および人道に対する罪を犯したドイツの責任の問題にまじめに取り組む必要性を訴えたものとして、その当時広く注目を集めた発言です。しかし、この言葉はもっと一般的な意味でも、世界の歴史を正しく理解しなければ、現在の世界を正しく理解することができないという解釈もできそうです。

私が担当している「ドイツ近代史」と「ドイツ現代史」の授業では、18世紀ごろからドイツが歩んできた道を考察しています。ドイツの近・現代史の流れは、政治的な分立主義、オーストリアとプロイセンの対立、国家統一、ドイツ帝国成立、勢力拡大、第一次世界大戦の敗戦、帝政の崩壊、共和国の成立、ナチス独裁、第二次世界大戦の敗戦と敗戦後の2つの国家への分割、再統一、欧州統合など、政治・経済・



外国語学部
ドイツ学科 教授
専門分野は「ドイツ近代史」
研究テーマ「ドイツ外交史」、「ドイツの対アジア外交史」「日独関係史」
主な担当科目は「ドイツ近代史」、「ドイツ現代史」「演劇・H・H・H」

社会の変動が激しく、ドイツがヨーロッパの歴史だけではなく、世界の歴史にも大きな影響を及ぼしたことは事実です。私の授業では、近代からドイツのそれぞれの時代の主な動きと同時に全体の歩みをたどりながら、近代・現代ドイツの歴史的な意味について考え、今のドイツ、今のヨーロッパ、そして今の世界についての理解を深めていきます。



ドイツ現代史の授業風景

私のクラス

One Campus Many Skills

2015年、理工学部^(※)ならびに理工学研究科を名古屋キャンパスへ移転します。

2017年、総合政策学部を名古屋キャンパスへ移転します。

情報センター、国際センターを設立し、全学部・全学科を名古屋キャンパスへ統合します。

現在、瀬戸キャンパスにある理工学部^(※)と理工学研究科を2015年に名古屋キャンパスへ移転。同じく、2017年に総合政策学部を名古屋キャンパスへ移転。また、移転に合わせ、名古屋キャンパスに情報センター、国際センターを設立します。

21世紀に入り、情報の価値や量、伝達スピードはますます増大していきます。情報センターの設立は、加速する情報化社会に対応し、次世代をリードする人材の育成が目的。最先端のICT(情報通信技術)を活用し、世界の一步先を見通す21世紀の教育環境を整えます。そして国際センターは、既存の設備や内容をさらに拡充。現在、28の国と地域から受け入れている留学生の国際教育を促進します。学生間での相互交流の機会を増やすにとどまらず、教員交換も視野に入れることで、多文化社会を牽引する人材を育成します。

2017年、南山大学は全学部・全学科を名古屋キャンパスへ統合します。名古屋の中心地という利便性を確保するとともに、すべての教育資源を一つの場所に集約することで、これまでよりも質の高い教育と研究を提供します。他学部・他学科間での交流を活性化し、学生・教員同士がお互いの違いを認め合い、協力しながら高め合っていく環境を創出します。

(※2014年4月、情報理工学部より名称変更)



理工学部移転に伴う研究教育棟ならびに情報センター関連施設建設予定地

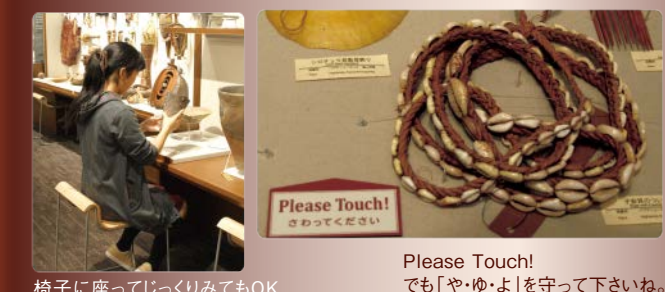
南山大学人類学博物館 リニューアルオープン



2013年10月5日、人類学博物館が、R棟地下1階にてリニューアルオープンいたしました。新しい博物館は、「全ての人の好奇心のための博物館 ユニバーサル・ミュージアム」をコンセプトとしています。「ユニバーサル・ミュージアム」とは、「さわる」ことを中心とした新しい博物館のスタイルであり、われわれは文字通り、すべての人の好奇心をそそるような博物館を目指しています。「さわる」ことで、視覚だけでは得られない経験を来館者に味わってほしい…。これが新しい人類学博物館のテーマなのです。



展示室に入るとまず来館者の目に飛び込んでくるのが、壁一面に並んだ考古・民族誌資料です。これらはガラスケースではなく露出で展示されており、来館者は展示物に自由に触ることができます。「本当に触ってもいいのだろうか」と思われる方は、お気軽に展示室内の博物館スタッフにお声かけ下さい。



椅子に座ってじっくりみてもOK

Please Touch!
でも「や・ゆ・よ」を守って下さいね。

全ての資料には墨字と点字のキャプションがついています。

- 「さわる」マナー や・ゆ・よ
- や 資料にはやさしく触る
- ゆ 資料にゆっくり触る
- よ 洋字(ようじ)と触る

また、博物館では学芸員によるギャラリートークを始め、企画展、ワークショップ、博物館講座、フィールドワークなどのイベントも随時行っております。詳しい情報は博物館 Webページ <http://www.nanzan-u.ac.jp/MUSEUM/> をご覧ください。

ご利用案内

所在地：南山大学 名古屋キャンパスR棟地下1階
開館日：月曜日～土曜日 10:00～16:30
閉館日：日曜日・祝日・大学事務休業日
毎月最終水曜13時以降、大学入試期間

Special events

9.28

父母の集い

9月28日、名古屋・瀬戸両キャンパスにて第41回「父母の集い」を開催しました。

全体集会では、ミカエル・カルマノ学長、尾之内敏彦後援会理事長(名古屋キャンパスにて)、小川武男後援会副理事長(瀬戸キャンパスにて)の挨拶に続き、本学担当者より、将来構想、学生生活、職業指導の方針、国際教育などについて説明を行いました。また、在学生4名による講演会「在学生が語る学生生活～学び、留学、就職～」を、渡部森哉准教授(学長補佐)をコーディネーターとして開催しました。「コソコソと努力した4年間」「留学は皆に経験してほしい!」「学生時代のチャレンジ」「南山大学:理系の学生生活」と題して4人それぞれ自分の学生生活について発表しました。

参加された方からは、「様々な切り口で、在学生本

人から学生生活や就職活動等について話が聞けて、とてもよかった。」「4人それぞれの話が本人の体験談に基づき説明され、内容も異なっていたので、集中して聴くことができました。」等の感想をいただきました。



10.1-31

経営学部の南川ゼミ生が、山崎製パン株式会社と共同開発

南山大学経営学部南川和充教授の3年生ゼミ生11人と山崎製パン株式会社が共同開発した「ランチパック カリーブルスト風」が、10月1日～31日の期間限定で発売されました。

学生らしいランチパックを、との依頼を受け、南山大学らしさということから、ミカエル・カルマノ学長の出身国であるドイツの大衆料理・カリーブルストに注目し、商品化しました。カリーブルストとは、ソーセー



10.12

上智大学創立100周年・南山大学外国語学部創設50周年記念「日本で暮らす外国につながる子どもたち—教育現場で求められていること—」

10月12日、名古屋キャンパスフッテンホールにて、上智大学創立100周年・南山大学外国語学部創設50周年記念シンポジウム「日本で暮らす外国につながる子どもたち—教育現場で求められていること—」を開催しました。午前の部では上智大学の杉村教授、宮崎准教授、ムンド・テ・アレグリア理事の松本氏、そして南山大学のムンカダ教授、牛田教授による講演が行われ、学校教育の中の多文化共生についての課題、母語教育の重要性、外国につながる子どもたちとその保護者に対する支援などについて発表されました。午後の部では、まずムンド・テ・アレグリア学校の生徒がペルーの民族舞踊を演じ、観客を沸かせました。そして、上智・南山両大学の学生による活動が紹介され、上智大学の学生グループはブラジル人学校との文化交流について「初めは言語の壁に戸惑ったが、お互いによく刺激になった」と感想を述べました。講演には約200名が参加し、質問が多く出るなど活気あるシンポジウムとなりました。



10.12

野外宗教劇「受難」

10月12日、名古屋キャンパスのバツ・スクエアを舞台に野外宗教劇「受難」を上演しました。野外宗教劇「受難」は、古くから続く本学を代表する伝統行事で、大学公認の課外活動団体「野外宗教劇」部員の学生たちが演じる野外劇で、今年で47回目となります。出演はもちろんのこと、脚本、衣装、メイク、演出その他宗教劇に関わるすべてのことを学生たち自身が行い、基本的に同じ筋を辿るストーリーにも毎年新たな解釈が加えられています。

今年も多くの観客が訪れ、2時間30分にもわたる長時間の劇に見入っていました。イエスの苦難、ユダ

の葛藤、弟子たちの苦悩など野外宗教劇部員の皆さんの熱い演技に圧倒されるばかりで、今年も南山大学の建学の精神が伝わってきたはずばらしい「受難」でした。



10.26

受験生のための入試相談会・保護者のためのオープンキャンパス

10月26日、名古屋キャンパスにて、一般入試・全学統一入試・センター利用入試の受験予定者を対象とした「受験生のための入試相談会」、その保護者を対象とした「保護者のためのオープンキャンパス」が同時開催され、717名の方にご来場いただきました。受験生向けには、入試対策講座、受験生のための入試説明会、学部説明を行い、保護者向けには大学概要説明、昨今の就職状況と南山大学の就職サポート、学生による就職活動体験紹介、保護者のための入試説明会を行いました。その他、個別相談やキャンパスツアーが実施され、相談コーナーでは学

部の特長や入試方法、留学等について熱心に質問する姿がたくさん見られました。



10.29-11.10(名古屋)、11.16-24(瀬戸)

秋の図書館企画展「高田三郎 生誕100年によせて」

10月29日～11月10日(名古屋キャンパス)、11月16日～24日(瀬戸キャンパス)、それぞれ両キャンパスの図書館にて秋の企画展「高田三郎 生誕100年によせて」を開催しました。高田氏は名古屋出身の作曲家で、数多くの合唱作品、器楽作品やオペラなどを作曲し、220曲余りの典礼聖歌も作られました。今回の企画展では、図書館が所蔵し普段は目にすることのない自筆譜を展示した他、典礼聖歌の歌の映像も上映

しました。11月5日には、名古屋キャンパス図書館にて、南山大学聖歌隊「南山大学スコラ・カントールム」が、高田氏が手掛けられた典礼聖歌を披露しました。



11.2-5(名古屋キャンパス)、11.3・4(瀬戸キャンパス)

大学祭

11月2日～5日(名古屋キャンパス)、11月3日・4日(瀬戸キャンパス)に、南山大学大学祭を開催しました。名古屋キャンパス南山祭のテーマは「万華鏡」、少し回すだけで様々な柄に変化する万華鏡のように、人々の様々な面を引き出せる大学祭を作り上げようという意味が込められています。一方、瀬戸キャンパス聖南祭のテーマは「LINK」。LINKには「絆」や「つながり」という意味が込められており、実行委員だけでなく、参加団体や来場者、協賛企業の皆様の協力の下で成り立っており、人々との出会いやつながりを大切にし、未

来へ繋げていきたい、との願いが込められています。それぞれのテーマを胸に、学生主体の大学祭が今年も盛況のうちに幕を閉じました。南山大学同窓会主催、各種イベント盛りださんの「ホームカミングデー」も同時開催され(両キャンパス共に11月3日開催)、多くの卒業生とその家族が母校に集いました。



11.3

英米学科創設50周年記念講演会「国際情勢の捉え方」

11月3日、名古屋キャンパスにて、英米学科創設50周年記念講演会「国際情勢の捉え方」を開催しました。講師には、前アメリカ合衆国駐命全権大使で、外務省北米局長、外務省外務審議官(経済担当)などを歴任された藤崎一郎氏をお迎えしました。講演では、まず藤崎氏がアメリカ合衆国に関する10個の質問を用意され、約120名の参加者全員が解答に取り組みました。全問正解者が1名、9問正解者が2名。藤崎氏は、あらかじめオバマ大統領の就任記念メダルをプレゼントとして準備してくださっており、その3名の方々にとってうれしいサプライズとなりました。その後、藤崎氏の具体的な国際情勢

の解説に参加者は真剣な様子で聞き入り、アメリカ合衆国への理解を深めました。最近のアジア情勢についても触れられ、お互いの理解のためには心理的な考慮も大切であることをお話しいただきました。

今回の講演会には幅広い年代の方にご参加いただき、講演後は、日本外交のあり方、学生時代に学んでおくべきこと、駐米中のご経験等について、活発な質疑応答が行われました。



11.6-

全国15大学とネスレ日本株式会社が連携し、「キットカット 受験生応援キャンペーン2014」を実施

南山大学を含む全国15大学がネスレ日本株式会社と連携し、「キット、サクサクよ。」というメッセージをかかげ、「キットカット 受験生応援キャンペーン2014」が11月6日より開始されました。「キットカット=きっと勝つ」から受験生に人気のアイテムとなったキットカットと大学が連携して行うキャンペーンは初めてで、大学キャラクターと一緒に受験生を応援していくキャンペーンです。

12月から期間限定で販売されている「ネスレ キットカット ミニ 紅白バク」には、個包装ごとに大学のキャラクターが応援メッセージを贈っており、中にはライオンくんも参加しています。



11.10

上智大学x南山大学 合同入試相談会 in 浜松

11月10日に、受験生を対象に「上智大学x南山大学 合同入試相談会 in 浜松」を、アクティビティ浜松にて開催しました。

上智・南山両大学のスタッフ・現役大学生による相談コーナーには多くの高校生が訪れ、大学での学びや入試方法などについて熱心に質問していました。特に、現役大学生への質問は多く、高校時代の経験を元に受験勉強などについてアドバイスをしていました。今後も、上智大学と連携しさまざまな企画を実施していく予定です。



11.18

国連アカデミック・インパクト関連講演会「修復的正義による和解を目指して—ルワンダ大虐殺後のNGO活動からの考察—」

11月18日に南山大学名古屋キャンパスにて、「修復的正義による和解を目指して—ルワンダ大虐殺後のNGO活動からの考察—」を開催しました。この講演会は南山大学が加盟している国連アカデミック・インパクト関連講演会として行われ、講師として、プロテスタント人文・社会科学大学の教員である佐々木和之氏にご来学いただきました。佐々木氏は現地NGO団体のREACH(Reconciliation Evangelism and Christian Healing)と協力し、ルワンダ大虐殺後、ルワンダの方達が和解できるよう、「癒しと和解」プロジェクトに尽力されています。今回の講演では、ルワンダでかつて起きたこの事件を学生達に分かりやすく解説すると共に、虐

殺の加害者と被害者になってしまった者同士の関係修復のため、REACHの「癒しと和解」プロジェクトで行った取り組みについても詳細に説明してくださいました。会場からは多くの学生から質問が飛び交い、佐々木氏の活動を通して、平和維持に必要なことは何なのかを、学生達は真剣に考えていました。

